

地獄

ナンシー関 で 大月隆寛

仏



ナンシー関（なんしー・せき）1962年生まれ。消しゴム版画家、コラムニスト。著書に『何様のつもり』『何をいまさら』『何の因果で』（以上、世界文化社）『信仰の現場・ずっとどこっこいにヨロシク』（角川書店）『ナンシー関の約百面相』（リプロポート）『聞いて極楽』（朝日新聞社）など。近刊に『何もそこまで』（世界文化社）。

大月隆寛（おおつき・たかひろ）1959年生まれ。国立歴史民俗博物館助教授。民俗学者。著書に『厩舎物語』（日本エディタースクール出版部）『民俗学という不幸』（青弓社）『瓦礫の活字を踏みならし』（図書新聞）『いまどきの物言い』（絵・みうらじゅん）『無法松の影』『大月隆寛の無茶修行』（以上、毎日新聞社）など。

地獄で仏

1996年5月15日 第1刷

著者 ナンシー関・大月隆寛

発行者 新井 信

発行所 株式会社文藝春秋

東京都千代田区紀尾井町3-23（〒102）

電話（03）3265-1211

印刷所 大日本印刷株式会社

製本所 加藤製本株式会社

定価はカバーに表示してあります。

落丁乱丁の場合は送料当方負担でお取替えいたします。小社営業部宛お送り下さい。

©Nancy Seki/Takahiro Ohtsuki 1996

Printed in Japan

ISBN4-16-351570-4

地獄で



ナンシー関×大月隆寛

地獄で仏

目次

I

(92年12月～93年12月)

スッポンポンはなぜエライ？ 8

エイズ論議のここがイケナイ！ 14

何サマの偏差値 20

なぜかうれしい婚約報道 28

うれしはずかしドリカム美容室 36

蘇るテラヤマX 勝手に寺山修司委員会 44

笑って許して？ 浩子と淳子 52



「地球人」よカンボジアをめさせ 61

Jリーグ、身も心もラテンでオーレノ 70

選挙も政治もみんなで浮動ノ 78

これでいいのか殿様総理 87

春樹がコカイン逮捕で、「角川書店の証明」 95

驚異の冷視で宜保愛子の謎に迫るノ 103

II

(94年1月～95年1月)

平成コメ騒動で、スピーク・ライスノ 112

お金がピンチで買わぬが仏? 120

さよなら逸見さん、だから死を考える 128

裕木奈江、魔性の「犬混じり」 136



聖子是不倫でトゥル・ラブ？ 144

疑惑の秘境、北朝鮮。勝手にPR作戦！ 152

やっぱり「デブ」は禁句なの？ 160

オトコ雑誌苦戦で悩める「活字」 169

ジジイ効果で、ファイト村山 177

好かれる「たけし」が事故でどうなる 185

就職難の何がイケナイ？ 194

食欲の秋、食い物番組で何思う 202

芸能・スポーツ、94年総まとめ 207

III

(95年2月～95年11月)

淋しいデパートのゆくえはいずこ 214



ちよつとヘンだぞ、この頃の「いじめ」報道 220

間違いだらけの地震報道 226

SMA Pのスコさを改めて論じてみる 232

オウム暴走は人類に対する犯罪である 238

オウム事件、『東スポ』が地味に見えた 247

こころに一人のナンシーを 253

灼熱の夜 深夜番組の栄枯盛衰を語ってみた 260

よく知らんけど化粧について喋ってみた 266

最後に知る対談の真の姿は「地獄で閻魔大王」 273

あとがきにかえて 280



カバー・本文消しゴム版画・ナンシー関

装幀・坂本志保

I



(92年12月～93年12月)

スッポンポンはなぜエライ？

▼大好評「アンアン」の「きれいな裸」(篠山紀信撮影)読者モデルは宮沢りえのマネ?



大月 ある雑誌から、『アンアン』の「きれいな裸」についてコメントを求められてね。

ナンシー 何て答えたの？

大月 「こいつら親はいねえのか」って言ったら、「それ、載せられません」て怒られて、電話きられちゃった。

ナンシー ハハハ。

大月 女が見るためのヌードをめざしたってことだけど、できあがったモノクロの写真見てどう思う。きれいか？

ナンシー きれいはきれい。だって16

00人の中から選ばれた19人なわけだし、普通の女の子の平均から言うとか、かなり出来た体でしょう。だってダンサーとか、モデルとか、女優志望とかが多いもん。

大月 雑誌だから声は聞こえないけど、みんな「私ってきれいな？」って言ってそうだよな。

ナンシー 面白いのは、OLが722人も応募してるのに、載ってるのはひとりだけ。

大月 OLの裸ってそんなに汚ねえのかな（笑）。生活感が出ちゃう子とかケバい子をシビアにはねて、『アンアン』の読者イメージにかなう子を選んだらOLが残らないってのは、なんだから考えちゃうよな。

ナンシー ここに出てる人たちって、やっぱり「セミ素人」って感じじゃないですか。

大月 彼女たちって、あらかじめこう撮ってほしいっていうイメージを明確に持つてるよな。で、それをまわりに見てほしいっていうのは、単純に「きれいな裸」を見てほしいというのは、ちよつと違うと思うよ。だって、「きれいな裸」を見てほしいならスッポンポンでそこら走りやいいんだけど、そうじゃない。写真という約束ごとの中で「きれいな裸」というモード化された自分を流通させたいんだろうな、きつと。篠山さんも彼女たちのリクエスト通りに撮ったらしいから、あつこれは夏目雅子、これは前田美波里、こつちはメイプルソープのリサ・ライオンそっくりって具合に、これまであつた写真の焼き直しみたいになっちゃってる。

ナンシー よく観光地にある、偉人の顔だけくりぬいてあるパネルに、顔を入れてるみたいってことね。

大月 「女のための女の裸」が必要だっていうのはそれはそれでいいんだけど、でも、世間には

女だけじゃなくて男だっているし、脂ハゲのオヤジもいるぜって現実がその瞬間からなかったことにされるとしたら、それってかなり不幸だと思うよ。

ナンシー 女性のためのヌードにこだわりすぎた？

大月 男の視線全く抜きなのが「きれいな裸」だって真正面から言えるほど腰据わってるわけでもないでしょ。異性の視線が介在しないと男も女も「きれい」になんかならないわけでき。あるいは、違う「きれい」にしかない、とかさ。

ナンシー 同性の目を意識しすぎちゃってる。「アンアン」の読者って、他の雑誌を読んでも人より、なんか同性を意識してるような気がするんですよ。「アンアン」読んでる自分」っていう自意識が強い。そんな読者を持つてるのは、あと『クレア』ぐらいじゃない（笑）。

大月 かなり重なってたりしてな。今やここまで女の視線の内側だけで自閉できるってことは感動的ですからあるけど、でも、買う側のオヤジにしたらこれ、それこそ『週刊宝石』の大企業のOLが100万円貰って脱ぎましたってのと変わんないよ。

ナンシー でも、見るほうが『週刊宝石』と同じだって見てても、この子たちは絶対違うっていう差別意識がある。「アンアン」だからっていうね。

絡みで撮ったら全然違う

大月 篠山紀信で、『アンアン』で、っていうフィルターがあるんだろなあ。もし、ロケに行ったらアーキーが出て来たらどうするんだろうね（笑）。

ナンシー 篠山紀信ってことで、みんな『サンタフェ』を意識してるよね。けっこうみんな宮沢りえのつもりなんですよ。それで、この写真を子供に見せたいって、絶対言ってると思うな。

大月 そう、旦那じゃなくて子供にな。でも、俺は男だからよくわかんないところがあるけど、女の人が見ていやらしいと思うヌードとそうじゃないヌードって、具体的にどう違うんだ？

ナンシー 女の人がモデルでいて、それを撮ってるぶんには区別のしようがないと思いますよ。ただし、そこに男の人が絡んでくると、ちょっと話が違ってくるけど。

大月 なるほど。絡みで撮ったら、これだって全然意味違ってくるよな。モデルの向こうに誰でもいい、ひとり男が立ってたら大変だよな。

ナンシー そうそうそう。大澄賢也みたいなのが（笑）。だけどやっぱ裸って、きれいだとか、いやらしいとか、そういうのってある程度体のクオリティーがないと始まらないでしょう。

大月 うん、絶対そうだ。

ナンシー だから、「きれいな裸」を日常生活の裸と一緒にすると、意味が違ってきちゃう。

大月 でも、日常にそんな「きれいな裸」を求めるかなあ。

ナンシー たとえば？

大月 まあ、寝た女の子でもいいけど、その子の裸を「見る」ためにはやっぱりあからさまに明るくなきゃいけないわけでしょ。そんなあんた、AVの現場じゃないんだからさ。で、それを「ああ、きれいだな」って思うかどうかっていうのは、かなり幻想の領域の問題でしょ。とりあえず電気消してから仲良くなるものだっただろ？ そういう恥じらって人間必要だよ。

ナンシー 男の人の気持ちは分かんないけど、とりあえずあたしは自分の裸の写真は見たくないですね、絶対に。

大月 あ、俺も嫌だ。だって、風呂場の鏡に自分の裸映してさ、ポーズとったりしたことある？

ナンシー ない、ない（笑）。

大月 俺なんか、もう後ろ向いて頭かいちゃう。

ナンシー ただ、ありえないんだけど、もしあたしが宮沢りえだったら、見るかもしれない。

大月 自分で鏡見るわけ？

ナンシー 自分が宮沢りえだったらって、とんでもない設定だけど（笑）。それは、あたしが宮沢りえがお風呂入ってるとこ見たっていうことなのかもしれないけど。男の人に比べたら、女の人は見たりするんじゃない。

大月 うーん、俺には謎だ（笑）。

ナンシー でも、あたしはサンプルにならないから（笑）。

大月 俺だってならない（笑）。人前に裸を晒しちゃうと、現実問題として違う意味が出てくるよね。もう「脱いだ」ってことだけが過剰にふくらんで、日常の関係でこっちの内面なんか見てもらえなくなる。彼氏であれ何であれ、現実其自然な関係を維持しにくくなるわけだし。

ナンシー まあ、普通はそうなんだけど、ここで脱いでるような子たちは、「あたしはそうじゃない環境にいるのよ」っていう意識の方が強いんじゃない？

大月 本当かなあ。でも、しがらみは薄そうだよな。家事手伝いとかダンサーとかフリーターと

か。やっぱ「自立した自由な女」の幻想は未だ強いのかな。

ナンシー　　というか、「彼は理解してくれる」って言うと思う。彼女たち、「一生に一度ぐらい大きなことをしたかった」って言ってるでしょう。これが一世一代の大仕事ってやつなわけですよ。大月　勝負かかってるよな。でも、この程度なんだよな、「大きいこと」ってのがさ。悪いけど「へえ、あんたその程度の人なの」って思っちゃう。たかだかスッポンポンになることをあんたの人生の一大事にするなよ、このあとどうすんだって（笑）。でもさ、そのへんの子がここまで平然と「きれいな裸」を晒すようになってるわけで、こりゃ男にとっちゃ頭痛いよな。

ナンシー　　どんな？

大月　だって、隣の子がいきなり裸で夏目雅子になってどんどん海边走っちゃっててだよ、それを愛だの恋だの古典的な武器で口説けっただってムリだよ。

ナンシー　　うん。それは言える。

大月　なにせ意識だけは夏目雅子なんだから、よおし、俺はもうこの先ひたすら正しいオヤジの眼に磨きかけてやるぞお（笑）。

エイズ論議のこころがイケナイ!

▼日本初の性的感染告白者登場——欠けているのは「不治の病」へのリアリティ



ナンシー 平田豊さん（仮名）って人が日本人で初めて性的感染でエイズになったって告白したでしょ。そのせいもあるのかな、ここ1、2週間で「エイズについてファックス・メッセージを送って下さい」って依頼が何件あったんですよ。大月 で、何しろってわけ？

ナンシー イラストレーターを集めてキャンペーンやるから、ファックスにあるスペースにイラストでメッセージを描いてくれとか……。でも、何をどう描けばいいのかわかんないから、ちよつと

バックレちゃって(笑)。

大月 そのテーマじゃ他の人がどんな調子で描いてるのかわかんないと描きにくいよな。

ナンシー それにエイズのキャンペーンって独特のノリがあるでしょ。

大月 そうな。派手なTシャツ着てやたらバジつけたオヤジが出てきたりしてな。

ナンシー キース・ヘリングが象徴みたいになっちゃってて、何やるにしてもポップなんですよ。こういうアプローチしかダメなのかなって思っちゃう。

大月 全部アートってコーティングがかかっている。だから、エイズにまつわる表現の仕方って、俺は違和感あるよ。これはことの重要性とは別の問題でさ。たとえば、自分がエイズだって告白するのをわざわざ「カミングアウト」なんて言うだろ。あんなもの言いで何か肝心なところをごまかそうとするその見が見えすいてて、俺、ムカッとするのな。あれって自分のセクシュアリティを公にはつきりさせて、そんな自分を責任もって引き受けるってことだろ。その一番根っこのところから「カミングアウト」なんて薄っぺらなもの言いに平然と託してしまえるんじゃないやあまりに情けないよ。

ナンシー やっぱりアート周辺の雰囲気もむこうのをそのまま持ってきてる感じ。ゲイだらけとかさ。大間違いだよな。私、日本のアートシーンなんかどこへ行けばあるのか知らないもん。

大月 ナンシーだってアート方面の人じゃないか(笑)。少し前までは梅毒や淋病にかかってる人なんていっぱいいたさ。軟性下疳にかかって男は一人前とかさ。そんな頃ならエイズだって目立たなかったかも知れない。でも今、「梅毒なんです」って告白したって「カミングアウト」と